

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：駒岡保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：荻原 美穂	定員（利用人数）：65(64) 名	
所在地：〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡4-5-31		
TEL：045-582-2250	ホームページ： <a href="https://www.komaoka-hoikuen.com">https://www.komaoka-hoikuen.com</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1978年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 鶴見乳幼児福祉センター		
職員数	常勤職員：17 名	非常勤職員：14 名
専門職員	（専門職の名称）：名	保育士：22名
	栄養士：1名	調理師：1名
	子育て支援員：3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：ランチルーム
	居室：2歳児室	設備：子育て支援室
	居室：3歳児室	設備：事務室
	居室：4歳児室	設備：休憩室
	居室：5歳児室	設備：乳児トイレ
		設備：幼児トイレ
	設備：屋上	
	設備：園庭	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

1. 温かく見守り、子どもの最善の利益を考慮します。現在最も良く生きられ、将来望ましい未来をつくり出せる力を養えるよう適切な援助をして、日々の保育活動を行います。
2. 一人一人が快適に過ごせる環境造りと共に、保育士を含めた周りの環境に自ら関わり、その中でいろいろな経験をしながら遊びを展開していける保育活動を行います。また、子どもが愛されている・自分は大切な存在（自己肯定）と感じられる保育活動も行います。

## &lt;基本方針&gt;

1. 地域社会や保護者の意見を大切に、相互の連携を密にして信頼関係に基づく保育運営に努めます
2. 保育の専門性を持って明るい保育を目指し、子どもたちの人間形成の基礎造りをし

ます

3. 地域に開かれた施設として、保育園で持っている乳幼児保育に必要な事柄の提供・開放を行います

<保育目標>

じぶんがすき みんながすき いっしょに育ちあおう

1. Smile and Heart
2. いっぱいたべて元気な子
3. ワクワク ときどき 大好きをみつけよう
4. みんながっていい一緒におおきくならう
5. たくさんあそぼう
6. 自分らしくいきいきと

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

<駒岡保育園の特徴的な取組> (基本情報I-3の記載事項)

●子ども一人一人の意思を尊重し、自己肯定感や達成感が感じられるような保育を大切にしています。

一人一人違っていい、苦手なことはあっていい、得意なことは発揮し、互いに認め合うことを大切にしています。障がい児保育も行っています。

●乳児クラスは担当制保育を行い、乳児期のアタッチメントを大切にしています。

●幼児クラスでは、異年齢での遊びや活動を一緒にする時間を設け、かかわりを深め、一人ひとりの成長を大切にしていきます。

●地域の子育て中の方々のために園庭開放、交流保育、育児講座を行っています。一時保育・育児相談も行っています。また、実習生の受け入れ、中学・高校生のボランティア等、世代間交流も図っています。

●年長児は、就学前に姉妹園や地域の保育園・小学校との交流を取り入れています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年06月13日(契約日) ~ 2023年12月11日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2017年度)

#### ⑥総評

【駒岡保育園の概要】

●駒岡保育園は、昭和53年に横浜市立駒岡保育園として開設し、平成21年に横浜市から民間移管として、社会福祉法人鶴見乳幼児福祉センター(以下、法人という)が運営・管理を行っています。法人は、「自分を愛することができ、友達を愛することができる大人」に育つように願って、横浜市鶴見区に3保育園を運営し、乳幼児期の育児・子育ての支援を行っています。

●駒岡保育園は、JR京浜東北線鶴見駅・東急東横線綱島駅より、横浜市営バス13系統乗車「駒岡八幡神社前」下車、徒歩5分の静かな住宅街の一角に位置しています。園周辺には、公園や小学校、養護学校があり、子育て世帯が多い地域です。保育方針でもある「地域に開かれた保育園」をめざして、園庭・園内開放・育児講座・育児相談等・交流保育・一時保育等の子育て支援事業を実施し、地域との関わりから子どもの豊かな育みへとつなげています。

●駒岡保育園の定員は65名、0歳児～5歳児までの保育を実施し、現在64名の園児が在

園しています。園舎の老朽化に伴い平成31年3月に、これまでの平屋建てから鉄骨造り2階建てに改築されました。新園舎は、各年齢の保育室の他に「子育て支援室」を含めたゆとりのある造りです。園庭も広々として、築山を中心に、周りに木々が植栽されており自然と触れ合える環境があります。また、園庭の端には畑もあり、子どもたちは季節の野菜を育て・収穫する体験をしています。近隣には公園も多く点在し、豊かな自然に恵まれ、子どもたちの活力と笑顔が溢れる保育園です。

#### ◇特長や今後期待される点

##### 1. 【子どもが主役の保育園】

駒岡保育園（以下、当園という）の特徴の1つに、豊かな環境が挙げられます。広い園舎と園庭、周辺には公園も多く、子どもたちが四季折々の自然に触れて伸び伸び遊べる環境です。園舎は、子どもたちが日々異年齢児と関わりが持てるよう、0歳児～5歳児までのクラスがホール（ランチルーム）を囲み、一望できる造りとなっており、登降園の際はもとより、遊びの中でも自ずと異年齢児同士の関わりが見られます。当園では、各年齢に応じた保育を土台に、幼児クラスでは、異年齢児保育を取り入れています。『子どもファースト』で楽しい一日が過ごせるように、「クラスミーティング」・「サークルタイム」を設け、子どもたちで意見や提案を出し合い、話し合ってクラス運営ができるよう配慮し、保育実践につなげています。また、「ランチタイム制」を設け、食べたい時間に好きな友だちと一緒に食事が楽しめるように時間の幅を持たせています。調査日は、誕生会の日に当たり、和やかで楽しい誕生会が見られました。メニューは、当園の子どもたちに1番人気の「唐揚げ」で、どの子も笑顔が溢れ、大いに食事を楽しんでいました。調査者も給食の提供を受け、唐揚げの味付けは絶妙で、とても美味しく、人気の理由が分かりました。異年齢児保育は、初めて出会う小さな社会と言えます。職員は常に子どもの声を傾聴し、ありのままの姿を受け入れ、安心して自己発揮ができるよう自己肯定感を育む保育実践に努めています。今回の保護者アンケートに「先生方は親切で優しい」・「アットホームである」・「園舎・園庭が広い」等の声が多く寄せられ、保育への高い評価が窺えます。

##### 2. 【体験から学ぶ保育】

当園では、体験から学ぶ保育を大切にしています。室内では「遊べるコーナー」作りを工夫し、子どもたちが自分で選んで遊べるようにしています。園庭では四季折々の草花を子どもが自由に摘んで「おままごと」遊びを楽しんでいます。園庭に設けられた畑を活用した食育も盛んです。調査日は、さつまいもを掘った跡が伺えました。たわわに実った稲や里芋の大きな葉っぱが目を引きまます。年長児は、カイコを育てています。卵から小さなカイコが生まれ、育ち、繭を作るまで、毎日の世話を通して変化を感じ、感動や命の大切さが、実体験を通して感じられています。なお、桑の木も園庭に大きく育っていて、カイコの世話に桑の葉が十分賄っていました。繭は、年長児が卒園式でつける「コサージュ」にし、職員の手作りにて、その年の子どもたちが好きな草花のイメージで製作されています。また、歴代のコサージュが飾られ、温かい雰囲気を感じられます。年齢に応じたカリキュラムには、「リズム遊び」・「わらべうた」を導入し、柔軟な体の動きを促すと共に、遊びを通して順序やルールが学べるように取り組んでいます。大人からの指示で動くのではなく、子どもの意思を尊重した取組で、自主性を育み、法人の理念の1つである「子ども達一人一人を大切に作る保育」につながると言えます。

##### 3. 【地域に開かれた保育園】

当園の基本方針「地域に根ざし開かれた保育園」を目指し、いろいろな子育て支援事業を意欲的に取り組んでいます。職員は、「三事業委員（地域支援交流・世代間交流・育

児支援)」を中心に、年間予定（園庭・園内開放・育児講座・育児相談・交流保育・とちのき文庫等）を立て、地域向けに「いっしょにあそぼう」を発行し、ホームページ、鶴見区の子育て支援拠点「わっくんひろば」、横浜市子ども若者情報サイト「ヨコハマはびねすぽっと」等で情報を提供し、参加者を募っています。散歩先でもリーフレットを地域の方に手渡し、ポスター掲示等でも知らせていました。園児とのふれあい遊び「リズム交流」や親子の試食会が人気で、参加した親から「子どもが大喜び」・「参加して楽しかった」等の感想が多く寄せられていました。また、地域のボランティアや鶴見図書館の方による「お話し会」、外部講師による「お茶会（お抹茶&和菓子）」等、魅力的な内容を盛り込むと共に、地域の方々との友好的な関係作りに努めています。閑静な住宅地の中にある保育園として、必要な福祉ニーズを把握し、保育園の機能を生かした子育て支援の実施が図られています。

#### 4. 【人材育成への取組】

園長・主任を中心に職員が働きやすい職場となるように、常にコミュニケーションを図り、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っています。今年度より、ICT化を図り、コドモン（保育連絡アプリ）導入により、保育事務の軽減につながっています。保育内容の向上には、人的要因が不可欠であると認識して、正規職員・非常勤職員を含めた職員会議や園内研修を実施しています。毎年、職員の「自己評価」から、「保育園の自己評価」を行い、ホームページで公開しています。前年度末の振り返りでは、KJ法（付箋等を使いグループの意見を集約・発展させる手法の一つ）で、全職員が自由に意見交換して、内容をまとめていました。その結果、保育者は「保育者自身も環境の一部と認識して保育する」、栄養士・調理師では「メニューを工夫し楽しい給食につなげる」を挙げ、今年度の園内研修の取組に活かされていました。また、職員の経験に応じたトレーナー制度やOJT体制を敷いています。当園の現状は、常勤職員の平均年齢が40.2、平均在職期間が9.23と職員の定着率は高いと言えます。今後は、非正規職員（短時間パート）の質の向上を目指し、計画を立てて取組む予定でいます。さらなる人材育成の取組みに期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 駒岡保育園

##### 《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

前回の第三者評価より職員数名が代わり、改めて全職員で自己評価を取組むことで、共通理解を深めることができました。また、できているところは「これでいいのだ」と確信と自信を持つことができ、足りないところが明確になることで改善につながる良い機会となりました。

アンケートに関しましては、ご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。高い評価をいただいた点は、引き続き継続し、改善を要する点は職員全体で話し合う機会を持ち、さらに保育の質の向上に努めていきたいと思っております。

##### 《評価後取組んだ事として》

1. 接遇マニュアルを法人として園長・主任間で作成し、子ども・保護者・職員同士等に対しての心がけを明確にしていくことにしました。

2. 保護者様からのアンケート結果を職員間で共有し、意見を受け止め、一つ一つ話し

合いました。改善すべきところは全職員で意識して取り組んでいくことにしました。

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり